

4所ボウリング大会

2月24日(金)、西台駅前のトミコシボウルで、第3回4所合同ボウリング大会がありました。

専用のすべり台にボールを乗せるだけで簡単に転がっていく「すべり台グループ」、ガーターの溝をプレートでふさいだ「ガーターなしグループ」、一切ハンデなしの「一般グループ」と、障がい者のレベルに合わせて、3つにグループ分けしてスタート。



どこも大接戦で、すべり台グループはとくまる福祉作業所のTさんが優勝。ガーターなしグループは男性がとくまる福祉作業所のMさん、女性はまだえの福祉作業所のIさんが優勝。一般グループははすね福祉作業所のTさんとおおやま福祉作業所のHさんがなんと同点で優勝を分け合いました。

同じレインの人がスベアをとるとたとえ知らない作業所の人でもハイタッチで迎え入れるなど、利用者間の雰囲気の良いも目立った今回の大会。仲間意識もますます高まったようです。

まへのマーケット開催

2ヶ月に1回開催のまへのマーケットが3月3日に開催されました。

「いたばし」の「いっぴん」や作業所での自主生産品を販売する、まへのマーケットではいつものお客さんのお越しに



「いただきます」
まへのマーケットでは利用者も売り子として店先に出ています。地域の方との交流も兼ねており、地域理解のきっかけ作りになっています。今回のマーケット

トも大盛況で、各商品ほぼ完売で終えることができました。次回まへのマーケットでも、たくさんのお客さんにお越しいただきたいと思ひます。人気の「舟渡ラーメン」や「はばまい昆布」は売り切れ必至商品で、その他にも季節の和菓子などもあります。



次回のまへのマーケットは平成29年5月12日(金) 10:00より開催予定です。

どんどこフェスティバル

3月5日に上板橋第一中学校で開催された「どんどこフェスティバル」に、とくまる福祉作業所のとくまる朝日太鼓(和太鼓クラブ)が参加しました。



演奏曲は「元氣ハッピー」「一番太鼓」「かがやけ囃子」「八丈島」の太鼓 朝日太鼓パージョンの3曲。今回は、八丈島の太鼓という難しい曲に取り組みました。

フェスティバル間近は毎日声を出し、リズムを繰り返して、誰もが体が覚える程に頑張りましたから、難しいフレーズを間違えずに叩けた時、曲が完成できた時には、大きな感動となっていたようでした。「本番前は緊張して少し足が震えたけれど、ソレ！の声掛けで気合

を入れて、バチをしっかりと握って、たくさんのお客さんの前で元氣よく堂々と叩き切りました。」と利用者さん。上手にできた事や叩き終えた安心感で頬も緩んでいました。



稽古場とはまた違い、緊張感の中で叩き拍手をもらえたことで、とても楽しい太鼓クラブの発表となっていたようです。

西伊豆合宿

おおやま福祉作業所は、3月9日(木)から10日(金)にかけて、静岡県の西伊豆に行ってきました。

まず立ち寄ったのは、かまぼこちくわ作りの体験ができる「かまぼこの里」。職人さんが手本を見せてくれましたが、実際にやってみるとこれがなかなか難しく、多くの利用者が悪戦苦闘。それでもなんとか形にして、できあがったものを食べてみると超美味。自分の手で作るところに、感動していました。



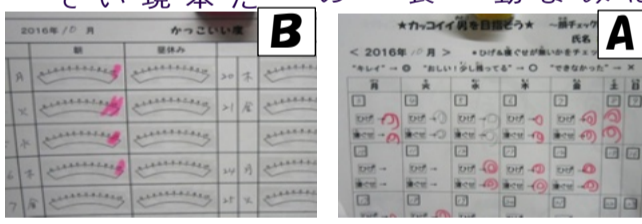
本で二番目に多く金が入ったという「土肥金山」では砂金採りにも挑戦。水の砂利を専用の器ですくっては揺すり、米粒よりも小さな金を根気よく探し続けました。なかには10個以上の砂金を採った利用者も。初めてづくしでしたが、充実の2日間でした。

山崎 「合理的配慮」をテーマにした連載対談も2回目になりました。前回に続いて、生活支援センターにりん草管理者・相談支援専門員の櫻井基樹さんに話を聞いていきます。

櫻井 よろしくお願ひします。山崎 今回は、社会福祉法人にりん草の作業所での具体例を櫻井さんに持ってきていただきました。櫻井 一つ目はチェック表の例です。毎日しなければいけないことや目標を意識づけける。モチベーション高く持ち続け、潜在意識に

「あたりまえ」の行動にするには、チェック表が有効です。別々の方のものですが、目標は「身だしなみ」。本人に響く表現で「カッコいい男」として

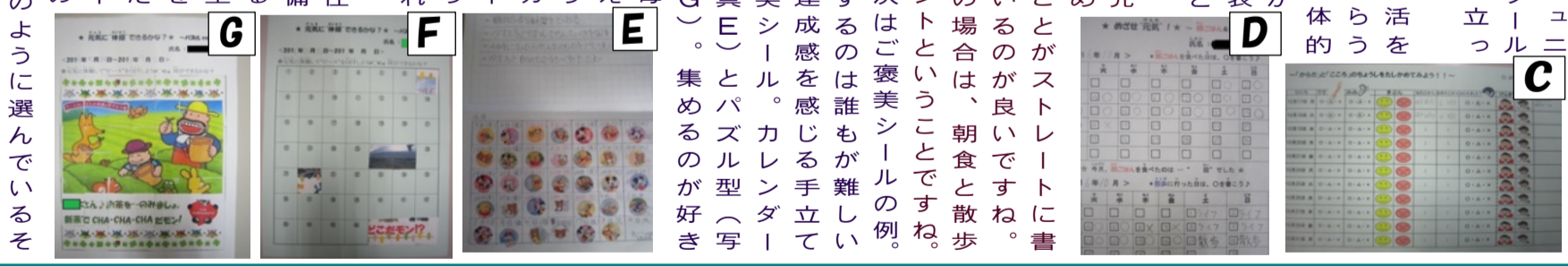
できているかできていないかを○×で職員と一緒に自己評価しているのがAの写真。メモリーのようにメモリ化(点数化)して、職員と確認しているのがBの写真です。その人の理解度・介入度等によって変わってきます。



連載対談その2 「合理的配慮の実例」

でなくコミュニケーションとしても役立つています。健康な生活意識してもらうために、具体的な何をするかのチェック表がDの写真となります。山崎 元気のために行うことがストレスに書かれているのが良いですね。この方の場合、朝食と散歩がポイントということですね。櫻井 次は褒美シールの例。習慣化するのは誰もが難しいもの。達成感を感じる手立てが褒美シール。カレンダー型(写真E)とパズル型(写真FとG)。集めるのが好きな人は毎日もらえるのがうれしく、カレンダー型が合うかもしれません。ゲーム性を兼ね備えているパズル型は課題をこなした後、貼るシートを選ぶのもくじ引きのように選んでいるようです。徐々に絵が出来上がっていく楽しさが継続できている秘訣でしょう。

山崎 どちらも増えていく楽しみがありますね。(次号へ続く)



こんな研修・講演会に参加しました 1月~3月

- 「東京都相談支援従事者初任者研修」(東京都心身障害者福祉センター)
- 「社会福祉改正法の対応」(東京都知的障害者育成会)
- 「障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム」(東京都)
- 「福祉施設の特性に合った給与制度改定のポイント」
- 「高齢化・重度化の中で就労継続支援B型、生活介護はどこに向かう?」(東京都障害者育成会地域法人協議会箱根一泊研修)
- 「東京都サービスマネジメント研修」(東京都)
- 「小児期から成人期 ダウン症の健康管理について」
- 「地域法人協議会 実践発表会」(東京都知的障害者育成会)
- 「ダウン症支援セミナー」(日本ダウン症協会)
- 「きつと役立つ吐物処理」(豊島病院)

編集後記

編集会議で「グループホームの生活を紹介しますのも良いではないですか」と今号の特集となりました。しかし福祉先進国では、すでにグループホームは時代遅れだそう。我々も見習って、次に来るべき「生活の場」を考えなければいけないのかな、と編集作業をしながら思いました。どんな建物にしよう? 職員の配置と関わりは? 日中活動と余暇をどう支援する? と妄想は膨らみます。(KY)

ふたつの輪

発行
2017年4月20日
No. 2901
社会福祉法人
にりん草
東京都板橋区
大山金井町21-1
03-5926-8640

あいのままの自分が出せる暮らし

グループホーム「ほのか」

グループホーム「ほのか」も開設丸3年が過ぎました

毎日笑ったり、怒ったり、しょげたり、楽しかったり・・・いろいろありますね



暮らし心地の良いお家

「ほのか」という名前は、優しくほんわりとした暮らしの場所になるように願って名付けました。一緒に暮らすみんなで助け合い、相談し合い、笑い合い、安心できる家を作ります。

ここでほのかの建物をご紹介します。玄関入り口部分に階段があるため、安全に配慮し左右に手すりとし車イス用スロープを設けています。エレベーターも完備しているため、1Fから2Fの移動もスムーズに行えます。トイレも車イス対応可能で広い空間を保持しています。自動火災通報設備も備わっており、消防署に自動で通報が行きます。また、スプリンクラーも設置しています。

笑顔満開ほのかのみんな

さて、ほのかでの暮らしぶりほどのようなものでしょうか？ まず、帰ってくる職員が笑顔でお出迎えをします。手洗いうがいを済ませると、楽しみの一つであるおやつタイムにはいります。そこで、職員とのコミュニケーションが図られます。例えば、週末はご自宅に戻られる利用者さんもお



下着類を洗濯物が乾くと自身に片付けをしています。次に2F：Sさんのお部屋をご覧ください。こちらは女性らしくぬいぐるみを置いたり女性らしさを感じられる



次に生活の場として、ある利用者さんの居室をご覧ください。1F：Nさんの居室空間です。男性らしくさっぱりとしたお部屋ですね。室内はクローゼットもあり、そこにジャンパー類などをかけたり、布団をしまったりしてあります。ベッド下には収納スペースがあり、そこには、



ますので、週末はどう過ごしたのか等の質問をすると色々な返事が返ってきます。ディズニールンドに行ってきた・スキーに行った等の話が上がり、ここでも、利用者さんのほのかに対する生の声を聞いてみましょう。「ほのかの職員さんは皆優しい。」「宿直で若い職員も多いのでジャニーズの話で盛り上げられる。」「みんなが仲良くしているので居心地がいい。」「色々な行事があつたの嬉しい。」「近所のすし屋でランチを食べるのが好き。」「という意見が聞かれます。」

楽しい休日余暇活動の一日

社会福祉法人にりん草では、トータルサポート体制が整っています。人生あなたが主人公・ワクワク・どきどき・フィールドはどこまでも”生活支援センターにりん草は、あなたの応援団。そこでの移動支援を利用した、利用者さんの週末の余暇活動を紹介いたします。こちらの写真はヘルパーさんと一緒にカラオケに行っ



た様子です。この日は、「島唄」「お嫁サンバ」「人生いろいろ」等計10曲以上を熱唱されご満悦だったそうです。また、ある利用者さんはヘルパーさんとの移動支援を利用し、成増へお食事と買い物に行くのを楽しみにしています。一週間まえから大騒ぎです。

また、移動支援以外の余暇活動としてボランティアさんも活躍してくれています。こちらの写真は利用者Nさんとの共同作業で作ったキーマカレー・サラダ・オレシンの昼食です。職員も馳走になりましたがピリッとしたスパイスもきいており、とても美味しくいただきました。一緒にわいわいがやがやと作っている時のNさんの笑顔がとても印象的でした。



クリスマス食卓

ほのかでは、毎年12月にクリスマス食卓を行います。様々な経験をしてもらいたいということ、毎回違うお店を選定し、食事を楽しんでいます。一年に一度おしゃれをして行くのですが、一週間前ともなると皆何を着て行くかとソワソワしてきます。



去年の食卓は、大塚にある『ラコンテ』というイタリアン・フレンチの創作料理店で行い、全7品の料理とデザート堪能してきました。クリスマスツリーの前で撮った集合写真にみんなの満足度がにじみ出ていますね。ほのかでは、これからも安心・笑顔・満足のある生活を実現してゆきたいと思えます。



しあわせな香りと笑顔いっぱい

高島平駅から徒歩3分、マンションの1階に“クッキーハウスCosmos”はあります。通りから少し奥まった位置にお店の入り口があるので、初めての方はそーっとドアを開け、のぞき込むように入店されます。そんなお客様でも、思わず「いい香り～」と言ってしまふほど、店内は幸せな甘い香りです。販売している商品の種類は3つ。

- ① Cosmosクッキー (プレーン&ココア&クルミのセット) 100円
- ② スノーボール (アーモンド&ココア&ココナッツ&ごま&抹茶の5種類) 各種 130円
- ③ バトンクッキー (メレンゲ菓子) 100円



5名の利用者さんが、これらの商品の“生地作り”から“袋詰め&リボン付け”まで、お店奥の製造スペースで手作業で行っています。この利用者さん達は皆、クッキー作りはもちろんのこと“接客”も大好きです。ぜひ一度“しあわせな香り”と“利用者さんの笑顔”に会いに来てください。



住所：板橋区高島平8-6-10
TEL/FAX：03-3936-8506
ホームページ：http://nirinsou.jp/s_cosmos